蘇聯飛行家多數南京に在り

皇軍の意氣ますく

入場り

「鼠によって行はれた、即ち陸

に猛烈を加へた、北支方面では 首藤部隊が冬空を断いて京漢線

對日惡化を恐れ

英、武器輸送を制限

一般目別に迫る

【ロンドン三日同盟】上海南京路

示最後の防禦線

あり打織く敗戦に動揺する一般民 動再建の猛運動を起さんとしつと

地として中南支民衆を以て抗日運一幅めぬ等、採日低の色彩露厚であ

無導抗日人民職線源の互頭セ|を以て人民職線源の抗日運動根薬|三五ー三六年中の輸入業者は一切流四日同盟】就約艦| 寛乃器|三ケ所に移り香港。 廣泉太び漢日|非常な鰥良となつてをり飛に一九|

か、義勇兵に属するか或は國民政府の顧問として任命されてゐ

抗日再建に狂奔

根據地を香港 廣東

南、商工總體

河南省主席と會談

ソ聯閉風が動かね場合は蔣

○部隊長は三日午前九時磁縣整弦│勢力範圍になったので今後は燃料

行道が南京路にさしかかつた際
ラード氏と含見の結果次の如き配

推を緊緊せり又飛行場を場覧し地約一時間に亘り交職をなし威機八

徳火を加へずして闘順させる方針 | 申由で日本軍の道郷によって明鵬に続けずとして残職に対し努めて | 軍に来り救七手の兵と共に闘順を

界状態は極めて平穏に躍せり

表記状を是認せるため三日夜の租

|石家莊三日阿盟||我軍は河北省||第万二十里|| を中心に蟠居してる||零時競表|||共同和界||寛京路に喪全

節石井菊次郎子は一日午後六時へ ム首相 ご會談

門、重要意見の交換をとげた、石

企畫院審議會

今三日の開議において前内開省時(住の中央經濟台議、茶原本映育业観における物價問題の水悪性に選るる、しかして企業監修議費位医に対ける物價問題の水悪性に選るる。しかして企業監修議費位医 貝奇等を融合する態度をとり各方に今艘膨止される臨時物質到策委 員を斃め平、戰時における総合國面の播劇を網絡して約三十名の委 な設置か

STEERS

翻を占領、直ちに句称に向け

電を發した

新進公司事件 わが軍は

廣東政府主席更迭

上海の皇軍行進途上

遊戯民地區の準備を急ぎ既にも

明朗河北建設を誓ふ

や新年宴合は廃止しても、この南京府落旦眺に迫る。店年會

と関連酒と伊太利酒のカクテ

この時間に三つ見っこれも報

八頁朝刊八頁

されるものと見られて

用に関する重要案件の

京城不動産株式會社

科營 目業 一一般金剣・エ・不動産ノ分譲、四・一一般金剣・エ・不動産ノ代理管理ニ・不動産 京城府長谷川町一一二番地般金融 五、火災保険代理店業務

【天津四日發本社特電』の處勢を張る形介石は最近影腦政一行進に許り南京路上において行は

不能と見られてみるが、是那抵抗し、あり、一方四川省成都に建設中の経攻にあつて支那空軍は、再進しその一部は外数を総由完権されつ

七千の兵と共に

敵の有力部隊長歸順

地立黄

にドイツ顕停薬出気が

調停も伸展も米だ早過 りか今喧嘩が始まつた 知つとるのか

整利ばかりは大に祝はずばなる

女型の死を表践するに、我海洋跳島を低落した

関ロ天日正義に組す

ついて我回答督促

るもので時間に鑑みその取扱よ問制職並に諮問の答用等を目的とす

爾者を置くことの不利なるに基く

で独立関係にあるので

見られる

觀台鎭炭坑占領

京師範大學教授河政和氏外五名の

揃

夏茶和黑 ==---七三八三○ ○○○○○

した支部側文化使節北

値段ニ於ラ 先が他品ト御比較ヲ品質ニ於ラ

「泉英線質樂館にて三日同盟特派」に三日来胡 前線に石炭補給容易

冬の空を設はせ『天泉陸下高版』 内され宮城前に逃ご盗み切つた初 - 首相王立翰根院副總越プロスペ【ブラツセル三日同盟】元ベルギ 元白國首相 逝去

たほ一行は主義衛國

ア公大將に 「ローマ三 としてエチオピア總督に任命され - 会は三日空軍大将に 子した

子群は三日ブラツセル

ダブル (兩前) ハ五

步

增

Ľ

黑

ニニー 八三八三〇 00000

才

鼠茶紺黑

二二 八三九四〇 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇

社群今 長 司事 上野 竣吉 秀青

衿

紨 慕

14,00

二、五〇

ハ、ハロ

では出版的 川口 W (十) [別三日的) 博美

スポン 鼠茶紺黑 鼠茶紺

五、八〇

四八八〇〇

履 色防國 平、四、三、五 〇 三、五 〇 三、八〇

鼠茶紺黑 五、五〇 四人人 一着分

【上海四日同盟】上海軍四日午前零時發表||丹陽縣城を占領したわが部隊は更に金壇

南京最後の防禦線である鎭江、

重慶をも壓する概

既に漢口、重慶を壓す

線を突破するのも目前に迫り、皇軍の意氣は旣に長驅漢口、

郎漢を陷れ一路南京を目標に急進を續け、

日本軍が近づけば

直ちに橋梁を爆破

南京防禦に死物狂の狀態

爾の簡潔に配配され支那軍の作職は日本軍が南京に近づくや楊梁を鐵載するらしく目下多数の軍隊を勝員して戦権中である。また変那軍が南京を変へ切れぬ場合には市 支那側要人は三日ニューヨーク• タイムス特派員に對し次の○く語つた『日本軍との空中戰で落ちた々那機 **〒の建物を環惑又は響き持つた上三甲する節目といはれる。一方最近の空中職ではソヴェート人飛行士が活躍してゐることを確** 被源員は三日南東市の内外を一巡して見たが到るところに航機が吸り続いさればリケートを構築して物々しい光景を呈し合地から滑源された新知東隊は彼々南京四

民(長洋河水北平緯安民(同土木部長)同上

《駐動挨拶のため四日本氏(戦争江水電事務部

ゼルに移轉接拶のため

民(鴨緑江水電常務)

世張中のところ四日午後 粉局長 資再道事拷聴問 め六日東上 と 資本道事接聴問 廛

手紙はがきニテ成可ク明細ニ

代金引替 送料ノミ買主持

責任ヲ以テ品替御自由

(洋服業者へ)

注文品 加工ニ如何ナル御相談ニモ鷹ズ形 紙 一種目一圓ニテ肉筆原圖送附 勝 島 如何程ニテモ反替値ニテ提供ス表 地 見本値ヨリニ割以上安提供ス

神戸洋裝ハ東洋一流行根源地洋服ノ貿先ハ先ツ神戸仕立品ヲ

斯界權威 神港洋裝 社神戶市中山手三丁目 (臺華島五三

物ノ前先ヅ弊社へ年中 御紹介シテ下サイ其他何品ニョラズ取揃へ居り、 他デ御買

伊黎四日市市•加藤翠松堂

10.00

均一

半島銃後の赤誠

先月だけで七萬六千三百圓

行る日本の態度や日、種、伊の昭

延結成に第三國の中にも漸く正

下限の煙草二萬四千個を初品の主なものは李王殿下御事想以來十一月までの殷間

その他六十七萬六千六百七十

點等

校町監理政育牧師城南永氏は正義

愛する神の使として『欧米の親

個単になつて來た折槓、東域所此

一本の立場を再駆機する氣温が

○六、州知事、市長、職員

認識を疑問し、さらに半島人 とクリステヤンの立場を堂

| 公儀を旧來らる限り買入れること | 從つて質與にと

に使用するため、一月破貿の戦時一条局員にものび二萬七千の局員に

歐米の親友に告ぐ。

電話本の抑用は

京城府社稷町監理教會牧師が

全世界に呼びかく

件等あらゆる修事が教起されるがのよ数守機打事件、数人修費事が登り、朝鮮には諸國革命常時の議所、朝鮮には諸國革命常時の議が、東京により進行したら北支、

鐵道局銃後の申合せ

一針する今年の年費級は底止するこ

とに決定二日の木曜食で申合せを

西洋文化桃(的)教育方針を根本的、六日出意四週間の豫定で北京を中国語で入家した、1行は『日安』 1名、九州市大法文部部選子木貝を観光が大成が建てれた、1行は『日安』 1名、九州市大法文部部選子木貝

年賀狀態止の整任各方面に貼つて

【東京支社特體】北页文化教育使 一帶大法族部先門與治助教授他二名

アウト」の強硬決職を映勘即

東實配給所長談

一行は三日夜路大工職理裡に東

京都市大文學に長小島島馬教授他

各銀行でも

年賀狀廢止 木曜會申合せ

視察團派遣

施設値兵方面に扱すべく目で朝鮮の防衛のため及も複数を

り、北日午前十時至づ町民一 熊永族原安台を開催すること 東賓系映畵を

所に内地で預金した古い郵便院会「が出巡すでにその投票数字回に建ってい昨今報山"永登市(七川の各郵便局」選続を形に利用し預金部取の係額」でも

郵便局恐怖時代

戦利品展終る

※し人の氷上流行が可能となつた | に登つて人の氷上選売が可能の耳

カルピズ

原産婦人科

(電話竜山|0三五番

新龍山三角地 (八院隨意

人場者十三萬四千五百人

世東京継券官比

mu.

「〇光人・二十日本・定倒「田子袋」の光人・二十日本・定倒「田子袋」の光子に注意である大気はなる。

官製人来エキス

朝鮮から区で

五社側が對策決議

の成行は興味を集めてゐる

あくまでも 對抗する

四成社縣動 一と先づ解決

余南大成島を鞭し維老島に削い は同社所有の重油メンク船三重 乗組員氣造はる

倫康院總裁郷原時氏はかねて病は

墨校生徒李爾妈("人)は四日午前一 園藝生が自殺

光下十一度四といふ金融で現意識」を示し物線に参山上端に光をに結一批世自教らしい。

用で連進し、ダイヤは混乱した。 しの臨時列車は五十六分いつれも 鴨綠江結氷

が木部原松下少尉ほか四十四名の B除失野少尉、森本部除性村少尉 | 時七分京城帝の清睢瓊第五○六列 迎城で名野の負傷をした小林 | 來から監査にも異類、四日に あす白衣の勇士 四十七名京城 直に陸軍病院に入る 重は一時間三分、咸興酸泉城帯八

既何其土仏五日午前十時半京城郡一時五十五分の長期江水軍時日刊越 到着、龍山武軍病院に入る

店員の襟章にもお景物にも 銃後の熱意を反映

|陰|| ソビ京城前工組合聯合會では加盟|| 外景品引換所|| ケ所に八十四の軸|| 釜。京元、京義、京杲の各治線停| にも時島を認識して、即ち商家報 **| 注意時に雨人が縫ぐあがつては歯 | 南唐を脊髄して | 日から旋末大翼 | 助と眼駒代その他に五子観の補助 | 直揚や金原組合に** 金をやって商人の尻を叩き、更に一配って前哨戦の火盗をもつた、

位で全連さすために修道部隊は要組を配ってゐる、正太親も接五日 る。それだけに此典は眺空には 一到る鹿の重要維物が情知しれて ことをつくし 感じる 私達が事

滯在

間

徐次にて 本社特派員 松田

定久

との便りも良郷を出てからはパタ りと疑えた、文字から遠ざかつた しい気持ちも止むを得ない、内地

平庫北東の城間に 南の異年北一たかります。

た協の手入れをしたり、関向ほう る、戦時風呂をたてゝのびきつ。自の兵職さんも、全く無聊に苦 C兼行で作録を登いである、休登 しきたのだ。 南次に來てやつと何處からか頃ぎ

つを一杯だけでよい、グーと飲みせぬらしい『日本酒の香の高いや

大日本楡次縣

び寄って來る、兵隊さん遠に止ふ

ものもない之跡の子達に残つた飯

|五六歳の子供は兵隊さんの處に飛 | の有様だ、私は根にまかせて能衣 | る、そして一番底を横にくり食い

自いのは自布に赤い丸をはりつけ」を怖れた避難欠なのだ、赤閉小學の被內外を刺落して避つたが、面 てあるのは、皆日本空軍の空路

て日の丸の観を造って揚げてある

世尺以上も深まつて、我覚覚験の一部難六が出来でゐる、穴の襲は初後に行くと、これは相常大揖りの

『京城です、今京城 はどう ですか

滑れるぞ!

けふ清凉里にて

漢江通り雅山公段日用品市場は>加山公散日用品市基落成 京城

れてゐる、倘告別式は七日に

一日今晩のラギオ

天氣豫報(5世)

晴寒い [明日] 同じ 京城地方 [今晚] 西の2 【合應】降一時

三重丸遭難

一枚一円六十五銭

朝鲜專賣局製造

O M # O

いる節が地方主要都市に計館は「先づ落着く事となつた。発酵が魅と行話でやって得くと」「第十十年」といった。

男状明俊君が引受くる事として】

つて表面化され、顔路底の話題と

>- ダーダーフェラインフェライン 草一。いなはて歌た 心の士勇線前句一 ノ譜熱たつ歌を情

K_36_97E

社會式株券證業制本日 一方支城京 日丁一遊門大衛府城京 由工厂上城京島協品四五〇四局承息電 陸地測量部發行 日母ぞんでの星寸朝鮮總督府測圖 企業には地図を利用せる

+

五方分 地圖大賣捌所五方分 地圖大賣捌所

學習以初日頭の藥人

内地輸送明五日限り

|◆昭和十三年度日記賣出し--= 寒用毛皮賣出し…… 階 階

日休定は日六 京 城

陳 列會…五階*** 挑

♦新

年用盆栽



の年下計画でして、著生しつよらの期間数が既に約千位集まったの間如本後接換盟では北支戦線へ送

線に展開袋(編集形)

デ子供に手をひかれて母山製

忽ちにして焼失

蠟燭の火から損害十二萬圓

「城守安君は去る一日雨犬」 で、限り毎月幾何かを献金すると

した感心な技権さん府内浸山

悲壯な遺言と愛見を殘して 府民の情に謝しつ、

。あるが、その後伊都子夫人の胸狀 | 降り一日午後四時安らかに他批し | 勝道豊和里々民は數日前純智紫主 | -- 三子五百岡に達したので協議の 思はしからず去る十一月廿九日川。たこれを既へきいた府民は「旅く同」惟の時間認識座談會で初めて時間。特果高朝神闘統一甚と野職電話機

金銭し府民の継大なる職人愛に燃煙の日立ちわるく哨球にある妻と 働きをなしつゝあるが、一方留 上海技が見舞った原自ら化野の近一位に参多数技の挑議を生んである。の重大なるとを認識して一面を設定した。 生物技具・生物がに、 一年後四時道時等で川、六回と十九度を関照配金として第一ついたことを張り、 架 (にを)地域の が議を生んである。の重大なるとを認識して思議して

親も及ば四環構の手に成長して「と言ひ続して容應急量氏路狀態に「終つた

での夫人が都子さんでに失の

六間と十九段を国際制金として第一ので島山忠田野祭都長を経て三日 鉱山上東る巻の海に生命を拾った 死の画流 たく救はる

級談所有の砂利運搬船職成丸は二 に贈ることとなつた。 『流物語リー·府内破の島瀬仙町邮』までに北支第一線に活躍する皇軍 **性格り、航行不能となって前後**

非常時警官養成

全鮮に魁け軍事教練を實施

平北に描く時局模様

英霊哀しき凱旋

見送り府民團體殺到して

釜山棧橋は人の山

要能丸に砂足敷助され、生死の

財内牧の島中村力太郎氏所有の第

管研究及び各面是が發起人とな り郡民から原則袋を夢集し今月末 守。小科、富石爾普茲是長、連部 那群製造生以來厚昌郡民の阿防賦 近く戦約式を駆行するはずである 大田恵兵分隊に献納手譲ざをなし 【肺山】盲目で按摩をしてかぼニ 金は六千餘間に遠してふるが金部 接摩の赤誠

河南倉削頭五百餘坪に積重ねた時間にして皆め臨し、更に火の手は 商食は誤り)から衰した延火は折 【近陣】駐京、三日午後一時成興一が共和して水道路管の監視を行び 咸興の大火事詳報

像か十五分足らずで火の手は機挺一般中と射機散員が適見本器で保証とも手の施してうもなく、出火後一中を全てたが二人来死に切れてき 勝らこの猛烈な風力火勢には如何 | 同抵中の愛人脈與子C'a' と服殺! 王牌、更に東方懸察倉取構内城特 を加へてみる、原因は男の本要が 即中を射機署員が適見本署で保護 所職工方事内("むな一日夜自宅で

chan)月下の吟詠塩 serva

モグラ泥棒

匂ひこぼれる嫯……誇らしい髮!

門第一番目に行め逃され隣接の 8の眞旗にあり 破火と共に柳梢迷 延風向きは俄然四北部に向ひ、 不実中の時ひであつた。田文原軍が難を疑れるとが田來たこと 殊に歴界有単の如きは盛林 面同里草地こと難大地(こ)の三名 による十一月廿日の直夜中が州奈 仲世(デ)阿爾作八里鐵琴光(む阿 町古物商科大元(假名)方に賢公 の材料性場の機関の下を掘つても 、り込み真鍮製プロツク六以の時

面白イ程捕レル雀捕用

記は開発の結果、整松工場配刀立

てゐた以外は商品たる様本には一一に針し田祗以來引觀言家職・地納工場機械に保險九千五百間をかけ、田祗中の蘭岡上等兵外二名の家族 ELの債家及債地人で目下北支に 【如南川 府內漢頭里牧野早氏は

一士の英製を送迎する人々で埋めら

えうつり大事に至ったものと判明 中ローソクが倒れて投域の他に燃

【釜山】北支の山河に野園の館と

【大田】 管渠和合具高射機關結戲

醫樂組合員

し今が採申合せて融分の概念をな、次に護られ、三日午後七時五分成。他各版館の田辺へ観に遺情に直に「れた

ロの定期預金に

軍事税税を実施することになった。ておる、これら勝門正に四日限り、更を取りてもと等すでもったは、軒款税がに魅けて管下を納税官に、本前作と取開的税を実地推教にも、年亡で入場以来の侵害をで現に致し、「審査性」 平北帆将約では今日本 こと ボルス(株実に乗り走新次の基)を納費する現業薬組合技会会和氏

朝有事の際完全な住籍の進行をしいによりて開始。そってこうとのと指ふ翻窓官の心身操作と共にしてこれによって國境観察官はすべ

【新義州】府内の旅館組合では事

・膣窩▲おのろけ

旅舘に怪漢

女客を襲ひ とんだ騒ぎ

原那終解面生れ住所不定李文岩(町延江都太方外二帆に侵入便所用 [智州] 邑内城山町金中九(「五

同帯北鏡の拷田しを求めたとこ。 応機町に居住してるる領官七十回。 ろにたまく、知会ひの表通信助員がになつたのでその元利三官士。べると同女は七、入年前の夢で現、九月大絹を魚ひ頼迫してゐたとと明さらのを本年と月世1日で。の佐々木トクさんを呼び出し返酬。の紛失であざらめてほみたが本年日前8組に三百関の党別が金と、とに踏を撃し両器では入日後二浦。とて事限にうとい同女は気を追し続

帰偽か宣實か

聞き手鞭ぎ一切を同人に依頼して

よつて排出しを与けられることをにその話をしたところ再下附版に

|百二十五回を盗み去つた事件あり のであり侵入した肚臓は内地人で の既手であつた鶴田弘一でと判明一のらしく宜川署では届田により時

【報前川】一旦夜前川場構內夏店

人容は平壌府第四町加藤一郎氏の

人客が失帥狀態になつてゐた右崎

南連書では犯人は意外にも元同能。その間の事情をよく知つてゐるも に建筑成入し金銀内にあつた現る 田一人の子供を連れて投稿したも は一人の子供を連れて投稿したも

を移さず件の怪蹊を捜査中である

挿出しを受けたと稱してゐるが、

倉庫の中から行方不明

興味集めて表沙汰

である。これでは、現代のでは、日本に対し、現代のでは、八年では、日本には、 「大佐々木トクさんが昨年と月世、翌に知金融書を持つて読へ出た」と応義を紛失してしまひ女のこと。 日東の祖に三百関の定期初金を とに婚を殺し同者では、八日本に用して、日本

| | 校店和田源治郎氏 | なつてゐることが到り強いて平壌 | 同事件は府内大利 | の嫁人佐々木トクさんに支持費に

一後四年ばかりして常時同様してあ

一のであらうが組合の概任は焼れま では十分の調査をして排出したも

いが近郊の怪事件として平壌著で

も頭をひねつてゐる

驛の賣店荒し 元驛手と判明

の二節人に格する鮭の排出し」 資源選集二部に居住する同姓同名 | ケ月後百五十間を積むしたがその習政金融組合定期限金の同姓 | ス同玩会は既に唯年十二月廿八日 | を同組合に預なし真にそれから四

損け主は同姓同名の婦人

平壌南金組に奇怪なる謎

管と武強製品具を盛んだことが判 去月廿九日以来数回にわたつ一

別離辛さに

別れねばならのことを思觀した結

【劉州】泗川郡昆明面新興里李文

感心な地主

五千四人大二前會計材全部一萬倉庫物精建裝及び機械全部三萬

便確生以來組合員の各版館へ「戲 金奉仕組」を設けさせそれに規定

如く逃げ去り客室では類帯数の暗しこの程新蔵州署を進じて飲納した 設西版館(侵名)の

襲室から女の

一省になったのでこの

うちから百間 みると一名の怪関が窓から飛鳥の一年へそれら、飲納すること」なり を平北民間軍用機に、百圓を闘災

悲鳴がもれたので女中が駈付けて

【宜川】去る二日午前四時頃宜川

み鑑に局時

まび選を品用實な的濟經

鹼石堂生資

鹼石座銀



匠の美術 罐 ž 凾

化生堂后

いっているれいと 女頭

れてる、世界最高のオリーブです。これは、ヒフのため「世界の寶」といは 博士は、大事な五つ見の肌を、先づ一番に アメリカで「五つ見」の生れた時も、デ

れ、はたけ等、五六回ねると、つるりした肌 これでふいてゐる。 肌の荒れ、蛇のなくなったヒフ、さく

つて「小じわ」になるんだから。 艶のなくなったじっが、質は、先きにな

れ等、綿にしましてふくと、驚く程い」。

「若返り」などいはれてゐるが、「女の顔

釜山出帆 九州野船出帆廣告

赤ちやんの頭の汚れやかさぶた。また中

と「赤ちやんの肌」には、ホルモ・やピタ シの様に、効果の分らないすので、ない。 あらゆる榮養クリームは、これい前に ・・二四一五・四四 伊東化學輸出入部、使用。任んの淡くねる前一度でいるら、つけ過ると肌が脂肪過多になる

はみんな光を失ふより仕方ない

四日九日十四日十九日十四日廿九日出机

₩ 水 行(愈行)恒日 午前八時 ※ 水 行(愈行)恒日 午前八時 馬山 行(会行)每日午前九時 朝鲜汽船出帆廣告 九州郵船製出張所

繁盛語 澤浦精米所飼料部 鷄及家畜飼料(麣蠶)

公式節カタログ法量

据替序版八九九二雷

流州总行 金 山 行 (48行) 月廿回次中十 金 山 行 (48行) 月廿回次中十

十 六●函粧美入個六●

入

學校。成績腦點 負生堂銀座后鹼

て三日の奥方まで恋々として降り様と複な約1尺といふ能蔵的な初雲で甕籠英製器く化。的の冬となつた、しかも二日夕割から降り出した粉製は夜に入るとともに本降りとなっ

夜に積雪一尺

むず無混る忌除下していよいよ本格 根釈板を飛ばす大荒れの季節風がや「群山」原突を吹き折り燃を倒し屋

『戦の再下財販を受けけた経典会』る子月十日発町洋駅前間に置いて、州町徐永校「心災具安」「もの贈名」に連絡され非常に復和となっ

風可三〇直標準南秋正五でにしま。「解釋は松が多く聖戒中のところ邁 新安州正界間の所要時間は七間大い 男 【客州】邑四米 【参川】起語時内の水道幹水管に 仲川で江界行路所列年に接頼間大い 男 【客州】邑四米 【参川】起語時内の水道幹水管に 仲川で江界行路所列年に接頼のでみに接

兵を面喰はしてある告訴人宜川郡 近来歌らしい告訴狀が提出され係

この薬を手込めにしたが自己の の佐々木トクさんの光夫が難に河 おびであり食育体 (種名) 外大 女の知らな、間に神田しを受け二 名の親族は庶子忍であため姉 (東神山しをしたものではないかと 歴趣に協力・且數回に互り教者・両抵令に入い、間に神田しを受け二 を介護した。

石油の火が燃移り

無残な燒死 ご遂ぐ

廣坪面上廣洞安某氏の喪金氏(≦)

記錄的の初雲

(製造) お補(高山廣子)のラ

運平と最小僧東紫京都

家 御 仁舞見中陣

既成俳優陣

◆……筋は、 ロシア革命前、そのボール・マルチンに転した 配着には腰利者』「プロンドの髪」

作品『大學よいとこ』『一人息 ないから知れないが、昨年度の小

ベネット蝦が規給に西五・も寄れない語である「意真は

勿驚·週給三萬五千弗 を認る人気 三馬五子弗といへば邪貨級十人を認る人気 三馬五子弗と既然他を難してゐる、王國ホリウ アム・ボウエルが選給三馬五 聖林の最高給はボウエル

引拔合戦のあふりで

ことしの邦書

界回顧

作品は一路低下

新人も進出の機會を失ふ

あるやも知れず) 明治、若劇は决定 ▽下最終列車「▲東管「地熱」や『世紀の逃走者」

新しき上二位

米國映畵檢閱の選定

はいへないが、作品的に傾動ある。たか』、新興は満日館二作品『愛店の、現代劇部は、撤進したと、小地安二郎作品『淑女は何を忘れた劇がかくを般的に低下した時』後代は清水安作品。風の中の子供』 ものを相関多く世に送つたことは「総統」東原は伊州萬作作品。故郷」

十二年度の邦

新人の顔觸

- 並に監督の引載を確全税

現代劇秀作

と「限りなき回進」、治療英文 かになって、「限りなき回進」と「採の町」と「採の町」に、このに、「は、「ない」と「採の町」と「採の町」と「は、スト3に入るべきものと期

『楽と経』東省『真人の真操』 東行的に成功したものには松気

時代劇 落

インチキ仕事

から足を踏み入れてはたらぬと ちに映識しいいんちき仕事中だ インデイアナポリスの着い蝦だ て議論沸騰の有様である先

ーザル社が今秋公開し他立以

ダアビン嬢あ

きめつけらる

齋藤監督東賓入り

立人會展 三中井で開催

「禁男の家」『我等の色』「どん座』「女だ

夫の秋!

ロッタリ合ふ自粉です。

領よく秋の魅力化粧が出來ます AN.

の此自然なら離方にても、少量で 如無害で 追從を許さない美糖効果を發揮 趣味 し世を

森

新永 ピ ス ケ ツ トゥ エナ経から三周まで エナ経から三周まで スト ロ ツ ブ ス エナ経から三周まで 本永ピスケット* 一風から十点週まで

す◆どこの要店にもあり 様状にスッズンとできま モリと明依になり物帯が! **预费蒸株式食盐**

⊒ヶ型 ■ **図**

五三十十十 銀 銀

大ヶ型

店商房見丸 醫爾。京東



荷動き活況



明月期一日日代

日から指標が事を申すのは据た器。にも及ばないから、一位一件を投入。「観きまして村上先生、手前の一今は鯉と氈の間揺も両塚、踵下大「イヤ丼の凌煮角数しました」 れぬか」 しょ マットお売支なくばれ話し下さ しのでこざらら 1 にお標古をして競き度いが如何な一望がございます」

ますれば、何卒仇説本懐の題まで、要を淫れて歩くは弟の手前もあり 図を題らなければなりませんが、 大『其れに就て我々未だ是より間 れませんでした 御息女はお田かり置きを観りほう

東たる鍵ではあるが、如何にも不 敗に存する、假令国家内にならず 上にばかり間が廻りましたな、レ も聊か骨を折つで居りますが、兄 し今度の事に就きましては、宇宙

(40)

と関りから出る所はミった▲何分米其物から 翌の要領を得なくな

格別安くもならず強して耐く弱いやうで

正市はその後相場の値 て、御盃を纏ばり、一回上々の首 又御息女も御所家の投機されれば一つ「大切」の観が出版。 前井小原太の兩人をお召しになっ れば御常家へ選子には参られず、全して見ると歌が出版。 前井小原太の兩人をお召しになっ れば御常家へ選子には参られず、一つ月現よの歓迎を 秋畔であるといふので「村上大助」、も一人、村上の後を聞くべき身なる者が除なくないが改 「ソコで太守は十河民邸に、武慈 ざらぬが、御息女にお一人、手動の者が除なくないが改 「ソコで太守は十河民邸に、武慈 ざらぬが、御息女にお一人、手動 おてるの意思ひ歯斑鍼が叶へば是に越した事はご おてるの戀患ひ

の一尾で立躍り、たほ共の後氏部は家一手前へ下さる際にもなるまいと心

米は一日百石五四

感してやる必要があ、目を縦しました」 へお連れを頼ひ変い』 (お連れを頼ひ変い』 |れ入りました、手前共未だ修行中 | の妻として、 頂戴 致すでごと 大『イヤ其のお言葉では却つて恐。大『左探でござるか、然らば描書目を施しました』

するは大きに後単の為に相成りま 民 『ナニ妻として、其は又一人職の事のある。 あゝ云ふ試合を致しま 5』

発育郵便局私告留一三連出れ、成功社 記載な、**成功社** 記載な利の別と留付組介 体電報・通信開始

00000

000000

許の御徳でござらう」

「喉でる、此 頃病の床 に就っ まし 民 『イヤさも険はん、何となく舞縮の次第でござるが、質は手前の 語つた。

小『共れは結構でございます、併い』

うでござる十前先生、モウ御息女

龍齋貞丈 演

木俣茂媚品

|國家非常時に再くの | 民一さて村上先生、結并先生、神 | 他より選手を救し此の子向の家は「公司の粉入週れに対して大好勢んで、「場ちおそのですられ、 又及ぎ者あらば「明られそのですられ は大層深んで、 概に観、家は家、又良き者あらば、本のも特付上兄弟の御崎だと民部、民『イヤー よの神心聖は神無用・中の無判も跳にだしい、其れとい。 得るが……』

す、幸ひに勝を得ましたのも情共しも表示事でございませう。時に対 上先生、貴所方は何か御大説でも

+

Hone light 民 Talで取締では当時だと云ふこと 大『オウ何か御息女が御不快の由

大『小源太、聞く通りの大筆であれば聞よりの事でござる】

島替 売事芸績

殺々乳母を以て導わさせたる所、 大助殿、麓に面目ないが、質に戯は 動車ひとでも云ふのでござらう」 其許に想ひを騒け、マ、俗に申す 云はれて村上大助ハッと赤面を 作する

ごからぬ事で、親ては非許に御順 民「イヤく決して嘘や盥談では 大「是は十河先生には御戯れを」 みがあるが、如何でこざらう、不 るからお前にも承知をして貰ひた

大『コレー(一何といふ無難な事をの空いたのはござらぬか)

ソコで此の事を戦でるに難す

開所の様子、只の修行者とは思は











敵は火を放っ

ドイツ政府が日支新學の別停役に如く論じた

【ベリ四日同盟】急遊社食祭史 用國の日支級単調停跳につきた

調停説について タブイ女史論ず

後居留民有志は日本人クラブに 英の對支工作

故宮飛行場の 格納庫全燒

的猛地と共に船前線内部の動向

政略の後十二月三日
び南京市街に火を放てるものの江陰要衆、丹脇、金一、空中債がに上れば敵は雌江及

用京の敵、南へ 移動を開始

掘湖の敵も渡河中

照湖の敵大部隊を担手江北岸 一般に南方へ向け移動を開始 れば、三日來南京及びその

は非常だ注目が神はれてる 上海四日同盟五金根】艾府府職

- 見られ、この検令を保へ突肉利。現の診園を始上す。館くまで長期。器に関し、北支皇大郎に「疾に滅」、者が関停に繰り出すとしても南。されてゆる。即ち今や北支有総者。同的互支機器を関立して会行がほそ改著しく総計を収るもの。打談せしめたが、群は針目長野城 ヒフクドマン氏の日安前側停止出。た態度を持し、限りに如何なっず。のて痛的に言明したものであると「子、速かに北支波線を関立して会り、現りに如何なっず。のて痛的に言明したものであると「子、速かに北支波線を関立して会り、現りに如何なの第ののたらず、北支以戦の要型を積してして成立すると言とに持ちて決している。 たる智様を敵権だくされ、この結(ある、即も英貴利に最近数失に互合に伴り英貴利の對文工作に軍大)に於ても和常成就してあるやりで

マージにその観察は大僧次の如きものとされてある。 ・ であるが、関氏気候率の批放は今直もに逞した。 ・ を非成日を探防した図表の政治は完全に失敗に記し、 ・ を非成日を探防した図表の政治は完全に失敗に記し、 ・ と非成日を探防した図表の政治は完全に失敗に記し、 ・ と非成日を保防した図表の政治は完全に失敗に記し、 ・ といるなが、またの、この特別の政治は完全に失敗に記し、 ・ といるなが、またの、この特別の政治は完全に失敗に記し、 ・ といるなが、またの、この特別の政治は完全に失敗に記し、 ・ といるなが、またの、この特別の政治は完全に失敗に記し、 ・ といるなが、またの、この、は、 ・ といるなが、またの、この、 ・ といるなが、またい、 ・ といるなが、またい、 ・ といるなが、 といなが、 といるなが、 といるな その指導特別と論原 型的的制への根据は許さいふをもつて、中緒を重んじまづ 型的的制への根据は許さいふをもつて、中緒を重んじまづ 中より更に飲名の至真を認知して異似とし、委員充認の委 員長の下に運替性の政治を行な

軍の南京高額と云本市質の酸重によって職實に實現すべきこしかして地支民報はこれらの相應精神を持つた新数据が日本 で、標度報致に從ふ
で、標度報致に從ふ

「大学社グリン社グリース」 (大学は大学社会) (大学社グリン社グリン社グリース (大学社会) (

速に北支政権を樹立し

支機携を聞るべー

北支有識者間に澎湃と起る

没落の運命

海省政府委員班禪智繁が去る十一に上れば張越委員會特別委員兼背日回盟」ニューデリーよりの報道

至于本府場的課式は墨竹引き代理するため他の問題に解棄を行るが 學校長會議一十16世日慶北道初等一季先十 一個 明年四月より改正され 七八日言殿殿、倉鞴に田原子 遊內初等海校長官職在

日蘇漁業條約改訂交涉

外務省聲明を發表

蘇聯の誠意を求む

病院と警疫器をかけ 本このごろはそんない た本町増高等主任の もちのやうにしてい

二階高等第の窓を中間また。 の中に持か出て困ると ん使の残さも平気だもの ロリと語れて

会に強くて、 悪いどうも た要員が、 住殿に真の 百様の

んなことを動切った(寝と登場する師走かな一▲ お衣裳に書画幅に 店 本 九二七②長話電 九路北長として英華化された蔡廷。のか、数日前南京で自動車政隊の

用京包圍の戦略的

基礎體勢を完成す

関語以は重要措施を上、母に移

白馬塘を攻撃

国館社の手を超て少しばかりは外

果明で爆撃粉砕

麻漁製を煮また 京漁製を煮り、麻 入を辿める作用 入を辿める作用

は一萬を超えてあるといけれてる | 機は四日午前入時中冬頭線原常

【芸術四日河盟】我が岩軍の〇〇

各地を爆撃 粤漢鐵道の

糜爛が乾き…

肉芽が早く上る

養榮所局

を運動して、生理的に自然で感をを運動して、生理的に自然である。 特徴の抵抗力 促進するのが特長です。

深水迄は十二キ

○ 廷橋・著に「潜伏あったが支急軍の部所に敗退と必し、イギリス代給で使用に至り両は上海の百五工場を軽順に、無線にあることに対る正規とれてある。指は、今回も上が放射と活歌中で「膀胱に掘を負ふたのを大勢発に暴」が、充敵、浙江南省にある工規製

常山に日章旗を飜し は上語の百五工事を昭原に、無線 | 杜鹃して居る状態である。 こここれが、近端、浙江南省にある工場最 | 樹葉所の附近により最近に発出す

的支援に誘導しつ、不能不望の態。るては彼米の役権的援助を搬失計量のではないかとの観測が着力であがつかず、全戦く東京政府に對し、る機分の助技政策を取らんとする

を示えず推薦った機名に至った ながは本年の進力移り、高 年青 などに本年の進力移り、高 年青 などに本年の進力移り、高 年青 などに本年の進力移り、高 年青 では近からお睦別となり、ウラ ずす漁業贈りす自初め来春の徒 更に関わる名記する進風の申請 手責したと

第二段は四日午前十一時三十分同

を記明に赴き**撃しくឈ**車用自動車 北省最南級に位し、黄河南岸にあ

みたのではないかと見られてみる 粉砕したが、或はこの機能にと **佛租界を通過**

川の安協済みの新島定案 修正交渉を締結し、さき ート政府に對し速かに昨

て政府は十月十ル日

東京大阪川辺路店 各地路店にあり ・一般 響… 一四 三四八十個

新政権前途の見透し

宣性を満形が来る

やがて全支に支配的勢力を振はん

「縁はプランス和なを通じて第一上語四日同盟」四日午前上記 糧食彈樂輸送 大使に対し、昨年明當局大使に対し、昨年明當局 おなることを指摘した了することは條約上の

部外とする所であるが石酸組の促促は帯域破 角一瓶光方の具質案 で十二月一日西黎 したが準備米了の 筆組計地

似金式烧黄瓶鲜朗箱给球地

社会式体造製並鉛本日。 **

前口方面よりパンドを連過し南

トラック五機に操企環要を積

並べた、斯の如く蘇聯政から未だ提示する別に行あるが政府の随起が決まる別に行 、首然なすべき機利上度は徒らに漁業の交渉 印の義核を開びする

如く帝国政府は一時 カ

た

+

便通を 毎日の日課に ラヂオ體操と Sつも側頭 Sつも健康 18 A B 8 A € 16

に應ぜざりし除も、我が見たるに拘らず蘇聯政府同に交渉成立し協定文の

問題度を持し、昨秋一路消炎沙に富り出來得る

ト剤は 錠

建設 京城党 三動車曲が 立大正八年『朝鮮唯一ノ正式學校動各批試証時備の収入児備に放送の2曲 左を動度向後後、ノ健アリ別は原本を動度向後後、ノ健アリ別の3回の紅設領寺、孫賀氏暦

「健切年封入申込器価値量」「成成度を形式了員(劉朝院園)「動車ヲ硏バノトスルガー値?追従ヲ許サヌ本校(幸レ賞員機費重急指数合

短入

意民 用語本品(2)20大階 力井婦人

嶄新な柄

場居室の防蟲香と句袋

|原大尉の指揮する○○隊は南京城内飛行場を爆撃、格納庫及び燃料倉庫を完全に粉碎、等航空兵の雨機は敵B十六型戦闘機三機を認め、之と約三十分間に亘り戦闘を交へたの 戦闘を交へ敵機二を撃墜す

作目更に解示なの意

しるるものであると認めてるるの

何容の市外七百米の

リークを挟み交戦

「り午後五時半旬春市外東ガ七百米」人で交換中である。運用の総第に「歌く飛行者と最しき方面には火災」の年間五時半旬春市外東ガ七百米」人で交換中である。運用の総第に「歌く飛行者と最しき方面には火災」

母さん

飛行場方面に火災起る

者が調停に乗り出すとしても南一されてるる、毎ち今や北支有総者一面的日支提携を聞るべしとの要求

川には日支頭停が外なる面子上の一が澎湃として起りつくある

上図復した兵器

つて、支那に放ける特殊推签の版。決定題のチャンスに限に英吉利は政府を精極的に採助することによ、無法するもの、如く、目下和平解 改描の形器の危機いよう一切位す 大き利き茂の動向性状が開保質局が度が高い路路は自動に迫り勝分石 大き利き茂の動向性状が開保質局が 大神波を企同して来たが、今や首 孤之野心しつ、ありと深へられ、

(東京電池) 大元献陛下に式に行幸仰出さる 陸軍士官學校卒業

ドよれば英吉利の飼支政策は南京 の詳細役を買って用でんとするを 【東京電話】硫質なる誠への情報 の質力主義的外交政策は日玄関停

の福軸とし、内域を関する語はし、近月が起い委員及の下に適性代の最近を行ふ、 市政府有無のが設け到送に関する。 市政府和無のが設け到送に関するに助史制目をもつて國策 の「相乗のがある採用する。 市政府有無のが設け到送に関する形態を特別する。 市政府有無のが設け到送に関するに助史制目をもつて國策 から、政府和無のが設け到送に関するに助史制目をもつて國策

とを信じてなり駱越してある。しかして楽るべき新敗機が

郷に、 府、 斯くしてフランス 印根

通過する第一回の様な弾車の像

的取極めを見、本年に人の一杯條約の効力を延長する難さを認んで交渉を構収し 協定祭文の調印を皆促

関変の大局に遭み速かに新公正労富なる危度を旅解し 政府は熊聯政府が帝 TH WII

t

胸熱の上に作大た奴隷を帰げたこ に機長官より下し階はつた御賞詞

認可千六百六十

會批第二回拂込▲朝鮮電力會財第四 第二回拂込▲朝鮮電力會財第四 第二回拂込▲朝鮮電力會財第四 54 全金輔田電視會財第四 54 24

もの言言ために右組合は設置せ

時配給統制は一次的には破安に限 易心はずである、肥料洗剤中の題 ※果、組合結成の協議會を開き引 ,る)石密販資業者中鲜組合(保養) かしてこれに
若言京城を中心

四日午後京城千代田 グリルに

蒙

は今世級洲の離もたく、既に急

|比丁ペラ輸送各機制の発展的活

思はれず、今次串種の重大性は の非常時局が解消すべきものと

れる。この秋に替つて朝鮮

或は北支の門戸として特殊上

(学者の) (母者の) 局面一新期待さる |通り肥料商を運ずる配給問題が決

打合會出席のため東上中であつた

の流した。
の流しが、対りとの、
の流しが、
の流しが、対りとの、
の流しが、
の流しが、

発車きを加った

賀田商議會頭歸任談

仰いでもたものにして出版により

蔵末贈答なぞの

汽車送りの注意

早く出しなさい…京城驛長談

棚浦し、更に一歩を進めて日本 とは云へ骨氣の波に乗った経濟が、始め昨今の小荷冑数量よれなうち、 がのが設置されてんたのを近く ました、日支非刺激波以来非常時。しに伴ふて仓糧越末荷也が跨出した。 第一の本土産は今まで日本海路、産工あはたとしい師走の月を迎へ はれるのであります。 南店の覧出 第二の本土産は今まで日本海路、産工あはたとしい師走の月を迎へ はれるのであります。 南店の覧出 第二の本土産は今まで日本海路、産工あはたとしい師走の月を迎へ はれるのであります。 南店の覧出 「武等の珍難荷動の段階第に於て第一に一般教訓して來るので設造に。」 場合のみならず十人連盟氏の場合「武等の珍難荷動の段階第に於て第一に一般教訓して來るので設造に。」 場合のみならず十人連盟氏の場合 世界込合を事と思ひますから顕答。 しかしてこの方針は不動産機体の

数の荷物の事であるから荷造や荷 又手索の製匠にも贈者して來る多一 は、此歌すると玄宋は一萬一千五百三 岐 白米は五萬百十二石で前年同地に は、白米は五萬百十二石で前年同地に は、日本は五萬百十二石で前年同地に は、日本は五萬百十二石で前年同地に

分外格局に大橋是官を訪問。今回の來京は承認に伴ぶ公使館の開 日夜入京した奉天駐在伊岡總道事コルテーゼ氏は三日午前十時三

ルテーゼ总領事 張國務總理を訪問

が間、巫國邪怒型、星野長官と会見

|題し厭意など独談を注けた後同十一時四十分群出 引禄・関都

他種々の事務が合せ並にアグレマンの要求率が主たる要件で

る事項に御注意が御題したいので

馬事獎勵豫算 各地競馬補助も決定

)組合 (内地もの) 二萬五子 (旧船石室は窓案約四萬トン

致のよくない荷札や不完全な荷札

荷札は荷物の行先を示す駆針盤と 完全な荷札と宛名

nt: ッケスビ į. ۲ ٥ •" 羊 ¥ ラ ョチ コ

てゆ

あ づ

然五十個定りあに店がロボルカ珊

友智易の二大権送源統であった

配給協定成立 務部所替とすること、たつた

朝鮮も混用を實

石油節約につき

是子技師歸來談

野より見て替茶服員の度期するの一

内に於ける勝空に関する靴板の撚」於ける勝空に闘する事務は消費務助災害の施行により各道領事は管「を発作薬切なものと建め、各道に

受け組合で配給

コ

の準備次第に

既很行、商業派行 医绒银行、

商銀の米資

推動し易き側にある三様開護会社

陸蜒道の來年秋間通を期として三 倉祉組務部無との間に支援が進め

平狹線者の工事資金需要は一層層 | 伊達奇曼以下總章機節は今後の折。 主本他要飛の異常の所況により工 | なる進行は拒難であらうといばれ **加少数の有力組を除いては悪く姿|面は添見されてゐる**

中小業者這資金難

上建協會幹部の奔走

|| ||統田の開發には張朝無の蘇展| (寸)

舊朝無の鑢區

000

三陟開發が買收交渉

(新政権の樹立を考ぶる時、 阜島) は事務の情質並に選用上の利便の や来るべきものと接張される北 この結果関係事務の處理に就いて 単年の政権航軍の虚戦の後に必。の箕庫及び顕線を行ふこと、たり | 府側令を以て道事務分類規程の政 備計畫を樹て之を基礎として防空一部署務職の主管とする旨四日付本

の間生じてゐた内鮮の貨物等

石灰窒素の

石室の鮮内配給統御は医報の通り

お歯に合ひ

まさまいテ

やスモカは 自慢の方に

のみのコ**バタ** かそ人感識

湯垢茶垢を

延滯利息を減免

製売銀ーで質施

6

V

明清

所で

ません故に世界的優秀な

五を御指定額ひますの作能を刊じぬ精御注

などは様式養本に比し三割四分見高い、本期菜経は売り、することとなった、本期菜経は売り、有名こととなった、本期菜経は売り、おり、まり、一十萬周、タングステン取り、時间前に於て定時株主總費を開催

柳 生 商 中 神 一 下 東京 器東 西 北東店

肺病ロクマク

內科一般特二

腾村岛 京域水柴町一丁目瓦脊地瓶活本

初一品屬州 前面自意思 部遊園敏眞保久大 三河金沙城京 第十二(2)本和

聖訓線紅日信

豐龍

中山泰安山內山東平斯院 大野山黎安山多安山河山東平斯區

解制 原國 用津 北 丸、丸丸

線×戦 馬×哀 語×物 人待ち顔に悲しき嘶き

曠野に殘る只

‡‡

足したり疲れ過ぎてゐて、もう「ヶ目も書うととなったくこうら話に関けばとの思慮は食料が不」思も退力は早いが疏久力がなく二

めにと言ふ心だけです。

せん。只國の為一天具陛下の仰た一個領が中國しました。

共配さんの心には全も死もありま

ケ月も綴つとすぐ使へなくなるの

の軍力

自動車は可愛想だと思ひ乍らもる事も出來ないまゝに、例単や ればならないのですからし でも前地です、眼暈には膨たなけ

例れた馬 の上をグングン でこの 兵院さんも思いず類をそれ行るの

輝つて來たお店を聞いてみますと

郷山知つてるの事でせ
メ × 坂本代議士が北安の職ひの職を見 四た男子しい思のお話は皆さんも そはならない動物です、戦争に

関の注数を設けることも取捨て 表別に就作に対する。 表別には傷ついてまだ息のあ ありもあるのです、軍隊が逃撃 する時には一本道の事とことの する時には一本道の事とことの する時には一本道の事とことの する時には一本道の事とことの する時には一本道の事とことの まのです、軍隊が逃撃

あの可愛いく別ましい場が際山死

カもあり 走るのも早く取

島に勇ましい動物で

良い地や風にさらく甘を立てさ

用に濡れて侵しさうた目、色髭の

竹の切りのやうた耳、耳

牀

疑れた壁を出して自動車の方に朝 つ子一人のたい荒れ果てた野原の けてする暇もないのでせる、又人 一道、前道、何もかも乗り起えて行 事の方がもつと大切なのです、前 く前連の前には死んだ馬に指をか ですがそれよりも抑闘の気に収ふ と馬が繋がれて立つてゐました、 こを自動車が重る時には、域に 一本木立の下に一四だけボッキン

でせ
う、
乗つて
ある
人
時
も
知
ら
的 間に誤が頬を流れて來ます、それ 言様けるのださらです、自動車の 見えなくなるまでこの馬

將士は屍の上を征く

いままで内地震は間段に

ERTでは中本島の飲食に続いては「推薦は背巾が磨く骨太で北支の 熱心に研究をして合ますが、大僧、寒さにもすぐ順れてます」(鳴くいままです。attaうおおく

その形得はもの扱いほどです。頭 のでした。

も、物ともせずにつき並んである に握られ、肝能とんで落る弾丸を つた右手の軍力はしつかりと左手

れて了ひました。けれど自由を失

ーゼをあてました。 際長段一大丈夫です。御気をた

しかし歴長はガックリうなだれたしかに……傷は違いのです



先 真四段 平平〇四段 加永 臁 澤 麗 胨

第十局 (剛は剛回島四四位並の屋面) 大員 節振脚

絶えくくにいたける形式の製造法 ツタリ倒れて丁ひました。みに耐えかねてか、その孤に、 再び気づいた底長の目は苦しさ たよりおちる資素な血液、傷の心 脳の頭痕からタラ:タラツ 2あへぐ頭山【簪兵の胸に吸ひつ てくれ、俺の事にもういく。 ません、摩袋・レーマーか たける際長の騒自分は心配あり しい息の下から部下を ころ中省を受ける、手名をう もうかまつてくれるな… っれて了ひました 一頭山……俺の事はもちいる シついに、と超えて了つた

ださらですがこれは主に関東地方と思い明もなく歴長はその場に倒 ◆町 刀をするつて前班又前班 すめて過ぎます。這くの空にひと逃めず…… 物族い大砲の跡で、つないてひなりやそして田の木を棚木のやうに立 には正義に整ゆる日の丸の値がひ | 百歳弦に撃ちつせけてみる壁の弾 すつかり飲つて了つた柳やアカシ 太陽をまともに、経然と即く職長 く銀音…ドカーン……とどこかで

らめき渡つてみるのです。

機関銃の音、果しない北支の空一つてみます。

タツ …タツ …タツ …タツ …

一等兵

(急軍原則真国から)

既長段!しつかりやつて下さい

野本年一畵

どろしたつて行くのだ……

…機器銃の音がせまつて來る夕や 第山一等兵の蘇。違くには大砲の

永澤氏再三の逸門 先手危るい勝利 |返跡||の

题 王子 4

を開けなざい、そしてアの上 関ーから関2に関すから関4 にいを重ね、イの上にろを、 にこの属で遠しておき、糸の かの上にはを……この似で重 期端を結びたさい、子供の幡 れて、孤ねたところをピンゼ 子と犬の頭に糸を付けて引数 止めます。そしたら子供と犬 つて こらんなざい、子供に

音を込まれてるなどのから経過し、プライ

付けて自い四角を駅の先で穴 字のしるしのところを通してこの間をボール紙の上に貼り 次には八寸位に糸を切つて十

師ります(作り方)

子供と犬が

ンと共島にどつとうら倒れて丁 --- アツ!京がつかれましたか、し ました。 マリ・ミニ・島間に、胸をおさへ 放してくれー他は行くのだ、他は一長を旅に、やゝ安全な人家の紹子 っおー・頭山か?はなしてくれ! しめて、立上りました。そして歌つかりして下さいくく。 ひで冷えこんで来るのです。

山一等兵
山一等兵 にのがれたのでした。

忠勇無双のわが兵は天にかはりて不識を打つ

出征を送る

何ラ世界小雅な…」

一 最つてるる初冬の空、タ

丁ひました。

胸を打ち四かれた際長はウーウ 人はげしさを加へて亦た脚丸の

総大は、道線でありますツ・・」 ま、撃なっともしません

うせまぎ防を歯シムで致一國學

猫の股強業者から事業の極限又は

| 碁館及6五足がナニほどまでつり| みは相常浮動を締めてをり、|| 夫不足により提來大斗権一本の荷 | 燃料の基礎など、各製造業者の

上げられ、空職は低単觀給離及び、水無組合、支金温線に関する映き、を映画品として二日漁送した。 投資設当五銭が十二銭にまでつり みは相常区別を極めてをり、一方」から出版した卯士に貢編デヨ

新設の許可申請が段戦してあるが 面要源の裏には大漁の簡々がか

低の山をだし、かて、加へて人「のが一駅四十五銭に飾わ上り更に「歳の概みといへようだれてゐる、即ち各螺結場には | かこの如きも微潔 最高|1,1銭のも | の回収に困難を来すだとまさ.

見――去る二十

令市は今年別能を見合せることに なった、即ち城南道内で多量の生

のものが五十錢に品語、また荷揚一者も水組の資金不足のため鮮魚代 つうのがは上端と出る。まこ前者の観問をあげんばかり、また漁将不足見越しにより御來最高壯五韓仕切金及び前遊金の借入不能のた

義理を缺くな

精神作興に本末轉倒大禁物

- これは満洲の話

ガキの節約から

|防空関係施設表析功二六、五〇

制機法適用の際に於て先づ九分

割箸や折箱類を六貨車輸送

平北の特産最高

品の進出

(以上全額認可) ▲綿澱場修築。

【開城】常窓の信開城には数十萬

方面委員

の緑一額を占めてをり、土産民は一八戸、百六十一人で、府の籍入口

にして六千八十二人、御民は七十一人に委員を挙員するとになった

憲法げた翻重兵一億兵故田島信三

【当州】太原攻略戦で名誉の取先

清州邑民葬

ば細民は一十二百四十三戸、人口 肝肚育器で調査したところによれ

六届に分け

城の

四の養産家が多い反面土体生活を「局で伝統家に當つてこれ等の細野」行つた

んでゐる朝合である、そこで府省

北は百五十四月に六百二十二人住 防火新額祭を執行し、

十一月に二十一人、その他不良住 【議政府】まる一日の國民機動員

議政府の防火デー

可となり近路下水工事数三六

想される十三年度の釜山府豫

事件競生の翌日被判に食つて行力 の夫人に出刄施丁を突ぎつけて現

識の婚み派剤

空罐空樽まで昻騰また昻騰

鰮業者に辛い資金難

下郡内各地を巡回し紙芝居を行は時局選議を徹底せしめるため時 局紙 芝二店 【永恒】都

に活動するはずで何氏は打合せ

、民、學校生徒見論修設于名誉列刊「の秩序を選せずいよく、開係地方「氣面をみせる際には行かねし」

| 脚襟して樂観するのは総物、こ | 所にしても、

の必要を認めてある南橋督のある。成合は今のところ文無しで全く職

金が要る、然るに脱腎の成下繊維 運動の足並みを揃へるとか……さ

うした特性を派遣するには相當の

題だと力説されてゐる

加するやら仕向けることが先決問を告出して生命観の機構退動に参

[浙出] 監報、青二十二日午後

清州の强盗

手に郷御され、同日本磐へ押屋さ

▲里に瘠伏中を南□面駐在所員の

臨時所事業の情報は発れの模様に全後、靴下、林檎なども進田の ハ時局を反映して新知事製金銭 | 据行させたところ整外に早く注文 | 支部全部有周五郎氏宅へ主人の外 がありこの程これら木工品二貨車。田を狙つて怪滅が押し入り留守中 |第一折総数の木工品を見本として (債権1千厘)を送付、さらにこ 日四街軍(二千両)を送った。た

〇〇〇間が新に十二年度採算

貯鮮

金額查與金額首的

德永小兒

科 人院随意 醫學博士 **德** 永 西川門町牛川裁判所東通 電話(光)1960番

黄のマツサーヂ洗顔で てもすべ 〈 と色 防止の秘訣

Ė <

たるりは

於類群 日 症 症 痛

皮膚の表

羽い方々に

腰痛に

アスピリン

この頃になると気質の風い強人ない **し言ふ肌アレで悩まされ始めて來ます。** んのりと覚し脳アレと共に小ジタの跳出にも 情死して不要になった角質や其情な場。メイ キン財を一切去つてその後適度の禁髪法をほ 孫題を行ひますと、腓アレの威因となる既に ラット・デの製造でレオンによるマッサーデ

ので、カサー これだけでも常気ですが陥たい異がまだ気

概のましては胎頭様に多い気が開催のお生む

形用の準備等に外出なさる場合問題の方に

ため物質を心御め、腺性のなけ、鋭いのもその機能だいタルルを喰い他性くづれを聴ぐ 掲伸レオンはおい路殿旅にも見える辿り、卧崎も野べりの質の棚におい嶋原を得られます の状態の時に、時間も売品にマッサーチを指ひは微粒な肺には細一棚かきとることでレオン になるだはむしかかれをもう一度傾に落て、 無、コキビ、ソバカス、シミにも効果の强い 経動的が観を興へて聞きますとアレもなく何 は様にして仕上げをなさると錯安心です。 リセリンの語った化財物を提供でたくする 次に肌に関係をは、かアレますが、これ の皮膚のだは油性クリームか

れは必ずに衝撃の緊
薬分を失ったときに使る
、なから早やこれに関
まされるがもある配で

先づ肌アレですが中甲以後のだでは状の中

8ので食物に栄養を持る一面、外部から

の記念を

神を與へて翻えずマツサーデナ っつけ順呼はどうなさつてもよいのですが

このマッサーデ法を使けるだけでも明 改配度の効果をあげられます

近日初もいらの間の形配美自定とし て特に好跡のあるレオン洗頭グ による肌アレ防止をお

レオンは流む、機関作用の歴 と記費な皮膚製養料とを見る

に結びつけたものですから、脱記の

悩みの肌ア

ŧ

物で刺し即死せしめたが殺人独で

合けよる岩中間と見合せることで、る廿日県軍規制金として鉱納した「歳間」支部事題の関係で咸興票」での利益を開出して四頭五銭を表 然らずば側壁を装つてあるのか、

成與名物藥合市

支那時變の影響で

*今年に限り、休止

問組合に貢献するところ多く各生る三十日附で解任したが在職四年 書記れ職は氏は去

チフス蔓延

平北に四十名

平北には各地に野デフスが記述。 【新義州】最近の雙方的知道から

地方民を要慮らせてある、現在列

。見を取出したが、高介この見は た條件では折角関節しても精器局 はの既然は疑と困避らぬ、振うし

下のお茶代り」で今年はさつばり

品が励かれところへ築令市に不可

性院の成田博士の執刀で施術、

にてるたが胸腺部が綿査してる」と決定した「今年に限り作业」。明してゐる。傾用証拠用面執復詞に二紀子をとの他は完全に二人分を「空倒れらみて『今年に限り作业」。明してゐる処者數は江渠郡立論面

職談拶のため二日永河支局來助料職述氏(前稽山金精賽記)退

本・ これにならはんことを理然し 模地の特は空産三漢八千翰木に遺からと考へられてみるが確認さば の折轍、最近金々生産職党の翌に一个中間見積積度によって監察する しい 一般ではこの際

を開催したが整軸者は左の諸氏で

七名の祭解者を囲したので三日午

【領担】要指記では原司会官以下

七幹部榮轉

鎭海要港部 司令官以下

> 総許なもので登場支押として一般がなもので登場を開発して 貨幣を選及生見は珍らしくな

名は中合せて朝市で野菜を販賣し婦人側の側長婆教順氏ほか三十六日一場人側の側長婆教順氏ほか三十六

野でも頭を掘めてみる

野菜を賣って献金

十名、图

に入名。

れもなほ遊嬉の形にあり、道南生子名、厚前郡七坪面に十二名で何

【大邱】リンゴの生産を複雑する

創立其體化

神経の必要を釈然し、二日午前十神経の必要を釈然し、二日午前十

つけて解みましたがよく拭きとれ

年来新たな分野を開拓すべく試作 で四十五町二反三畝十四歩で六萬 興、北霄 婦川の五ケ郡に割し朝

【成興】成南道の歴作物段端に昨一進門二郎の栽培者は五百三十五人一五ヶ年計量の下に成州、定平、新

明年度は更に擴張

初年度に見事罰歌

ズン

に躍る一度北沿岸の鰊

一概八姓となり 一般的家はほくは一番職長などを中心勢力としてお **亞麻**とホツプ

道路下水費を除き

設起債認

松額百七萬五千圓 『上り

新に防空施設追加

列階標に直譯、趣管が行はれたが が所狭さまでに発塩を飾り、官民

設定、出迎人は駅ホームを埋め に遺族に渡られて自武雄に安

各方面から贈られた花絵映物

た吉田、松本雨伍長の遺骨は

「護政府」議政府で生走する極に

忠州で追悼會

議政府の繩

午後二時世三分階列車で忠州 北支第一段で跨域の華上 伍長一遺骨 吉田松本兩

する。特れな細菌民も根質あるが、

|民を徹底的に戦助すべく従来三日 のを今回大脈に分け、一躍三十五

> 賀織之助のトリオで見る一百名、 水電には江上義郎、石非稱質、古 開氏を甘暖に約百五十名、

> > 五萬八千圓を投じ

咸南道増産を圖る

第二百五十名で發酵量に含る を代行し登配、線路、土木等々五 下岐川の長飛江頭電事務所は乗都 め資電器芸芸品が伸氏が所女事的別長の玉置正治氏が京媛常誌のた 筋事案とタイアップの高地問題既 五等三十八銭、六管四二十八 が路胱改政策に顧黙、先づ本手度 の競響では平均等統例等品と応えを加へることになってるたが、外部二段となってある。 消費

京釜線複線工事

金谷町一七ノー無数字施穏(で)は 自轉車泥 【開味】七川府

外部二段とたってゆる、道路移

長津江鏡電車務所への経習等々は一歌等なお別越を終了した、東東本 機様は水電水豊事務所への韓観。 | 八幡州成)により約二百三十名が|| 本社の京威冷神、斑川江水電で | 三帝客重る一幅、手宿物車二幅の 【鼓展】長龍江水電社員の分散…|列車 〇二等字車四輛"二"三等並に

方面が概不是のため建文設計し、「で田邊組に落れし、六日から宿工年に百萬貫を突破するが目下京仁」で九キロの工事は工変五十八萬間

一回の管測だけで

樂觀はまだ早い

文無しで動きのこれぬ期成 盲

機構改革が先次

長津江水電八百餘の社員 各地へそれが一分散

三日午後八時二十分战閥後の強時。駐ニほ久保田豊、横地郡夫、佐籍「開破署員に検撃された

頭前に置いてあった自種単一常時 慣四十四を召取したことが接触し

去る三十日午後一時頃黄海鏡連門 島二千町歩に御最して増進をはか 世軍地野様として重要なる距離の

一回に持てる影響にもので特殊

が出来、最近百三千

プラムで六十六回五十銭の収益

|新記門を開拓したボップを一躍六||との関係さへよければ野家現金 要原館費以約五萬八千間と見込| 方、高地僧の特用作物として 真綿チョッキ

女生徒らが 熱心に製作

見が前後、15回 道すべきであるが、本総道の銀道、度中級制度等の内容機構を扱いします。 【登職】総道、民の開籍を陳』し目的の實施に選「厚の採用に客韻を重ねてよるが、

をほかる上に或は消消機動の鍵件|降く有力済を組織し、相當の負擔

を求めるとか、孤日本と提擇して一

おしの一手 判官手古摺る

※若の原棄地差が等一切の変配構 る時兵へ勢間として直続手頭、概認的線、き 航政付を押す第一級で高機してみぬして流地方線の水準正確氏が主! 航政付を押す第一級で高機してみぬして流地方線の水準正確氏が主! つれてから俄然難となり去る七月

【蓋山】内地渡続朝鮮人の保護指

積極的活動

任御事務所は内轄局配行器に近

一楽として放課後も居残り題さも形 はず一心前めて製作中である(寫 を総つべく宮町公立普通學校附屬 前易女器後の生徒らにこれが仕立一

僅かの間に美

実しく

本良江

きになりまする

ての結果を使つて公判を再開する 配されいになりまして、全地なが、代金は五部は後り姓しましたかが、一部職位ですのに見ちがへる。ませっ ほんたうに歌のやうでございます! ・ムを写映使用してみました段 短日頭さましたレオン機能クリ

・ 一方類はとても細胞になつたのね」、 ののではります。 職にまさるものと競く酸酸粉ししらよろしく

も大阪に診いで出ります数、候率 ・大阪に診いで出ります数、候率 ・ 注め お扱り期きたう花じま

失ぬにします。

▲片山江霏岩野粉主任 上城中日 酷い色黒顔も白く 吹出物もとれ

田宮肌に子

悩みから解放され楽自な際になら

総数十二曜マテ及ピタ

京城安全町入口 日本生命

れるのです。

醫學博士渡邊晋

書りますが、 が製物総代はいつもずつと発展を交流をした が経聴になりました。お話に想しいつのまにかり取よりもずつと難 又先日の夜コールドクリームをく思つて思ります。 のが不思識に跳がなめらかになり 別ばかり脚に負出よりレオンボ つた吸出場が少し緩を変したさり 激然に観響中上げます。私は二 ますと二三日後にはあれほと地か ムを取り寄せてそれより すので配と観聴中上げてよいかわ 地肌も戦から美しくなつてゆきま復も心脈になくなりつつあります。 まひました。谷はその

されてゐますが。更に之が活性の皮膚対策や其他誠々の方面に關形 自力及び特閣作用が強いとされて り、且つ至於副作用がな状態となりますと知りは 作ってこれを入の肌 | 6番単加・面利用下さい。 そのものが既に確認 扱ひ立りが、

「レオン洗菓タリー A は東 京 市静 間 はら川 町寺一丁目 技式会社レオン の 向合(設督東京八一番) から 奴妻さ りの 効力 の 盤い気めを差上げたいと りの 独力 の 盤い気めを差上げたいと 査元へ御申込になれば 内地 に限り取

□ 墓拾計百七億壹金本資一 全民 未口 一店 支 城 京□ 日 丁二通門大南市 阪 大 ・ 店 本

がコロイド硫酸を含んである硫酸 及び小精素色々の酸いものが出来 けたやうな美しい肌になるのと同 温泉に気永く使つてあれば必ずる ベートした傾白な大理石を聞き上 皮質前にニキビ、ショ、映出物 これは丁度人並以上色の黒い方

H頂きました一郎五十郎 た。そして姉もぜひ頂す ことですから、大阪一覧

都台三箇記述り下さい

保存に困難なコロイド硫質を多数に連載ですの最近更にこの極めて 即つ皮膚頭の側壁突化作用を繋む点の配因をなす色素を凝白成少し の祖や毛和より皮下に登滅して由に接する時は汗 に無味を確認的なと他にした唯一 残骸料、レオン疾動クリームを 皮膚泌尿花柳病





+

村景建盟 村景均及

行銀

勲

在川龍岡町 電話長二五九	- 仁川郵便局長	- 4	MILITARING MINICAL STREET AND	朝鮮鱗寸株式會山	他件 让組合 本村為一耶	在用朱安	新年総督府 図 言田 信日 一 の	曳網漁業水產組合
佐 藤柳原縣	文文耶 高橋宜		中央 中央 中央 中央 中央 中央 中央 中央	仁川質屋組合	朝川仁鮮本	和 RE REST 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	「	仁川木材商組合 鬱 小谷益次郎 仁川葬 節 社
野久米商會 松屋吳服店 W屋吳服店	期鮮鹽業城會社 伴康 衛加斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯斯	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	在川穴門通 相谷寫真場 ta	同海運商會	慶 田 組 朝鮮郵船仁川出張所 高 杉 回 漕 部 石	THE LECTION OF THE LANGE OF THE		世川推薦所図 年川本町 年 年 年 1 1 1 1 1 1 1
七川工場 七川工場 七川工場 七川本町 塩語長二三駅		電量電話	(A) 中岛茂	1	東川 大 第 大 器 素	(いっは順) (いっは順)	古 岡 久 能治齒科醫院 纜 塞 玉槌商店 化加克斯	一宮鐵工所 深見 職 造場 場本深見 寅市

・て調和しろ!」

あるかと思ふと、呉の冬服 のやらになってみるものが たにかを確込んで整確さん

つて喫ム勇士、見るに見かまねといふ兵士、吸殻を拾 を切らして【週間増草をの いてゐる兵隊さんが難分多胆はすり切れて支那靴をは

い、徹次に深るまでは原草

山殿の西にある、だから山山殿の西にある、だから山山殿の西にある、だから山町省と名けに続きが聞いだらと思けに続きが聞いたらと思います。 程度であるが、朝夕はグーりチト郷いかなあ、といよはない、中島京姫の郷さよ 借衣の將校



る、 理服の下にジャケッキ 服を浴であるものが大分あ

病を行く時後の中にはまじ的頻繁なのだ。それなのに

く追撃行進だ、恥は疲れ、見、難から冬の間休む暇な異概二百里、七月から十一 んでも懸さには負けだめ全だよ」成程数ら兵隊さ

期受局があったので忽

からは、支那様耳ではある

から環子を上げようした、 ち煙草の鉄水だ『オーイ、

これがなくては一寸先は脳 は光を大切なものゝやうに なのだ、光に慣れた文化人

京を田で利達は一度も電路 の御収介になったことはな ると光は夜の質である、北思は如が、光のない頃に来 原稿を書くのもランプ

を加むること二百六十五回とい「貯販部であるから二関五十銭を出」「京坂中勘町四三本明像の実施代(**)」(でも三日夜館路敷規則上の世界的記録を作り、「せと辞頭して城を職さした。目下《)(京東西暦町10五条銭天の斐(はかれ三日夜館路敷が列上の世界的記録を作り、「せと辞頭して城を職さした。目下《)(京東西暦町10五条銭天の斐)はかれ三日夜館路敷のプルナー日五日間に互る大論(東大門等で現入機を中 實は賣る魂脂 江風道哲平邑内の酌壁に度形は古 に世話するとかで酸ひ田し数日前

分の数女にするとか、良家の女中

作業時間の延長を願つて国際観点

から市民舘に於て全岬火甕市理事・ひ六時戦者がら市民舘に於て全岬火甕市理事・ひ六時戦者

流で娼妓大怪我 ではない

双豆寮外寮さんごに)は「両郷に向け歸る途中、府内竹部町工時ごろ京城御焦町水」 京畿 自動車 部タクシーに乗つて 自動車屋を収調べ中

関
起
ユ
タ
カ
温
泉
前
に
達
し
か
ト

けて観光の重傷を負ひ附近の頻度 と共に酸火したのに聞き、ドアを 諸領の打合せを行つた後弘承里の一甲、乙最者の関係なる取

支那事類は邪を犯した人法に誓言]から府民館で協會を聞き呪翼並に | 會を開催し | 「精報者の來席を表

穏額なんと一萬餘圓

に題まつた敷盤の穀盤は十一月末選勵を起した、全軽二十八飛務所

た受刑者達の選集一萬一千町を各

和仁元大審院長

氏は兼て脱糠酸を削み整合質代官

町の自販で館覧中のところ三日半

に治したい

方に無代進星

戦器用御佯服数は今の内に神色が現の御用意!

お茶は本品清元園

· 本營營製和BB 花柳病專門®

作業時間を延ばし

人助け家傅の御灸

エンドー紳士服店へ

※ 田田余代

会に限り勢に要問にて掲載する場所の本作政権要は削減の本作政権を正式する場所をは、一旦事に五十五級活学十五字籍一回五行一五級活学十五字語一回五行一

御用の方は

現台名《空》 進

小幺十人等上校募集職 関チェキミルを所本四八〇二上川 「サ宝、ドの地が復年会を超 あり場所模ケモバスルが渡 あり場所模ケモバスルが渡 の地が複ケビバスルが渡 の地が複ケビバスルが渡

大阪 四十二三人ナン八 電流一四一六 一三人ナン八 電流一四一六 一部一部が入岸電子 温次四半女中 中 一三人ナン八 電流 一四一六

実産・地 京城が第三衛町公開 地 京城が第一の景像地 京城府初計前一六五 林 采別胜住宅好迈的真水あり採耐交通二直三十八坪 宿類競

新夏 資 山葉ピアノ 中駅30 駅

見明子のは序列 木

お子様のために

是非一台を!

採用 問導法人類 新 計 計 京航超前一丁目 城 郑 計 計 京航超前一丁目 城 郑 計 計

化聚烷(2)三四个番 樂 器 盘 ·

||花は戦球の選手として原風の花||少女來島言子さんといふよき傾称

最敬を集めてゐたが日本の招他一い眼を除いてプライズ氏の凡ては れてのる矢先偶々域大の招称一られ英国に見失った郊の故郷を日東洋の附器に明まらなく心を一すつかり美しい日本の最土に化せ

も好きになる、俳句も解れ、氏の節化質現を望んでもつ なぜ歸化するか

「東京北話」 元獻相三土忠道、元

~る帝人事件は東京飛事地方認到

もかも驚きの種

百萬圓の種明し

豫審以來三年八ケ月目

二のモラエス成は小泉八隻として

ブライズ氏 心境を語る

對するひたむさか愛信とがから

対受に燃える赤風に共卑に逃なく

月莆工以來一年中のスピード工事

の各會社が観々引起すとになった。ト・レット二千五百箇、電動音五、七百名、微葉員その他を合せれば、女赦部歴に侵入、大敵にも機関し同、日本航空、田光藤會・「五キロボルト・アンペアー、アク」のピル内に観くサラリーマンは叙。関町二一八カフェー東洋クラブの

〒馬力、停電の時機備デイゼルが | 数に一千名近くで郵便局もあり、

◇……衛生設備も至れり進せりで一合な振をなしてある。六階以上の「月十四日午前三時北米倉町一四活

しいもので、世梨は軽量三百七十一ピード・エレベーターを練り、こに事務室、俳廉散館がまた楽晴ら、毎分三百五十尺上科の中島一のス

入り十月二十七日午前五時ころ祭

三日夜京城太平通を洋服箱を抱へ

旅館荒しの男

て通行中の半島青年を巡回中の大

べると、住所不定信明得、ぎで報

がナニや十三の子供では一寸日

物形事が引摘へ 東調べたところ

欺いて持出す

でうるつく怪しい青年を本町署有 二日午後九時ごろ京城臺泰橋附近

うろつく男は

忍込み専門の賊

落成した。朝鮮

今次事製によって海外日本人の配

布哇から献金

舊部下

ありまた詩人としても仲間一者も得た、今はたら祖色の動と碧

加納部隊長ら

腰られて上陸、直ちに宇品に向ひ 阿地で燃売を受けた上、加精形隊

新成丸は販売に努めたが燃料不足

正午廣島に入港、無首の凱鹿をし下枝部隊等の競死者の遺作は三日

を 曳流して去る一日 全南大成島 は重池タンク船三市丸(二二トン) 朴雅の第六種新成九ペー六トン)

は午後等時三十分、

二日午後四時二ろ京規明倫町三の

低警官の詐欺

〇人支那パン屋金参法別で加方一院)正面玄関の上四十尺の底上か

※) 正面玄関の上四十尺の成上か | 公人だが順部内川地のため生命艦 長男かるる大門通五 京仁トラック合社 (三 虫の息、直ちに赤十字病院に積ぎ 賞永には関連している。

四月午後八時五十五分。ろ京城南一鳳仁氏(三)であたりを鮮血で染め) 変のほか二つの乳谷 今見と仁川の、

町三の観道ガード下配道線路に投四日午後一時十五分ころ京城竹都

に男宛てに「この世の遺ならり無

京城に住む大地主の細君

邪戀の生活を清算

カートで、鉄狐の機管、金時計 ルビ を持つてある」といる意味の尊敬 あつた、鉄狐の機管、金時計 ルビ を持つてある」といる意味の尊敬

育袋の者だがお前の家には消散器 自殺を企てた男があつた、京仁ト

と平常と関与ず談楽してゐた。自

四十銭位の洋脈男が助れる後は「ち凍てついた暗臓の路上に飛路り」第、採氏に常直で死の直前途同僚。

ライズ氏にロンドンのユニヴァ

らた情間を抱いてるた一英関人が意を挟して削肉の飼積を睡脱し日本に間化を頭ひ出るといふ変那の

、陳まり致しくなつて行く、此時も時、永く日本に住み日本の文化と風物入情とに跳い理解と

新列所刑事が一號大法に於て

る十六日午前八時東京刑事地方

尿仁トラツクの営業係社員

奥部内田血甚しく虫の息

降りの現場の はありましたが…… はありましたが、緑経い

り自殺を企

行方不明

ローブが切断

城大豫科の講師プライズ氏

中心に判決文作成中のところが

一裁判吏上の世界的記録を作り、

|十二日第一回公判を開延以来||脅かし、果ては鬱蒼で取つてゐる

辯護士を介し願出づ

オルガン 金二十八 圓 46 ビア ノ 金五百九十圓 46 カタロズ部外

歲末贈答品內地無賃輸送等

面積200町步

宝つた、 傷心の 岩田さんは、

爾印

jiji 州

ifu Ű 黄州果樹園(閩(坂秀一)

黄

用本位

質優秀

栽 培

一服さない。然たんでものは一種一うとしたのは、おい、策士、ちと 『田て来たまへと云つたら、田で にるが、それで差支ないのか。L できってると、花田、をかしたこ **の精神とやらを振したことになる** 大きな壁で花田の田鼻を抑へたる 馬鹿、下窓左飛推をするため はて突め立ち上つたと思ふと、 だがらも5一度云つたo 悪事を思ひ留まらした方が、黛 を触したのはどつちだ? してかくの如したこ 花田が、田で來べき位配を指さ 君も、段略に於て、氣の精神を 突然、櫻井はみんなをハフと思 機井は、相手を小馬鹿にしたや 9 同一時一〇分(大)海外市児(食児中断)
正午(東)時報
年後季豊三〇分 ニュース は、鹿頭と違つて、何も悪事を鍛 同一〇時四〇分(北)海城横峡納 適行放戦し、名作物語として旅途 同一〇時四〇分(北)海城海岸が開山 尽、一九、磐天の作品のうち、最新の経覚院・治理解学太郎瀬田 と、一九、磐天の作品のうち、最新の経覚院・治理解学太郎瀬田 と、一九、磐天の作品のも、三、いか、 こんでは五月から、三 「それどころか、悪事を働いたの ない。 前の野心の犠牲にされるかも知れ まあ仕方があるまい。甘んじてお んと云ふに至つては、顔に武器を いてみないんでなる 能まで、お前の野心の何食にしょ **ふるから、銭拳の制器位受けても** 名曲定期演奏第二十四回) つてみるり 「が、続けざまに、目の上の猫の 第一放送 島 政 [111] 田 同六時 文學の互匠とくらべても遜色のな 同四時ニュース(麻臭亚坪・釜山・青井) 二型(宋平) 吟呼銷世迎州城 同二時二〇分(宋·犬)青年浪兆師 佐藤樹信之語 することになり、常代版一の賠償「ドの市場」といつて、「八四七年」ので放撃し、名作物語として放送「ファルコ」は別名を『リクチモン 同七時四五分(大)日曜特؋ニュー、吳海兵隣を歌へる 外四型 一、吳海兵隊を歌へる 外四型 同七時三〇分(度) 河北東歌 同七時 ニュース・天氣見込 多の名作を生んだが、中にも三馬、 我したものといへよう。このユー 四六時三〇分 産業ニュー い程すぐれた作品を残してゐる。 四、スラヴ舞曲 一九、鯉丈の如きは、西歐の懸決 モラスな遠は、徳川挪に入つてい 二、「八島」の間三段語り之内一、鳴子 しそ、この明るく蝿かた一面を釈 、頭かな一面を持つてゐる。 岩戸 この度、AKでは五日から、三 (大阪) 赤垣源蔵徳利の別 頭に通夜したと至家物語に 武神として武門の故信厚い 瑯 ・文化の淵縣と相俟つて戦 伴奏 日の丸管絃樂(東) 少年少女獨唱大育 官熊大社建部呼赴は日本 皇威宣揚祈願 (滋賀縣) 繪 大らかな笑ひ 建部神社より中機 **奥へず、この鑑は正に好鑑先罪で** | 変もけるのこの第二十四回で終る 貰きことになった あすのきいもの 昨年一月からはしめた通俗名職職 | 陸軍大府 男爵 | 本庄 | 繁| | 開| 朝韓訓語 | | 東| 本庄 | 繁 昨日の自七千五は黒に七十七を 深い御趾に於て戦かに泉城 宣播武運長久の新顕祭が執 一、歌劇「マルタ」 本日はこのまことに由格 叁 部高 段八 木荒 霞 詞 平道 7 酷評無鐵砲 覆面道人 考 圖 併 觀 唱歌と倒話 翚 白七十五上り黒九十迄 燃 自からざる状態の指案となるわけれまでの選びとなって、黒には面 ける一であるとすると、それ以下 である (中)々誹霊場の内語々(中)々誹霊場の内語々 プイルランドの民職『近の神殿であ』(の主題は現在ドイツ関歌になって「あるフロート)はこの歌劇の中に「七大第三線象四京紫側の第二後春 寛学に行けない機等が、日本中の 大連直行 三等七間 大郎 大連直行 三等七間 大連直行 三等七間 大郎 ころを、こめて新つた事妻が、日本中の 大連直行 三等七間 大郎 アイルランドの民職『近の神殿であ』(第一人大第三線象四京紫側の第二次) た、ご密労さんよ、それでこそ、「②精神整査符号全成第一プイルランドの民職『近の神殿』(1987年) なる歌劇で作曲者プロートーは十七ヴィーンで初齢された四幕から これを要するに、巻着間の如く 黑髪を心から生かす 力温い組分は全曲を一貫して流れ 「城岡等に觀られ、黒に悪い、黒七 り、黒に面白からざる變化が起つ 三、皇帝諸政に依る穆泰曲 で、お父さん、ラヂオを難いて、な実験無の顧 全日本號の、お手柄は、新聞訳ん 家ワルドトイワエルの コニストウ デイアンテイアーとともに有名な 作要する人に掛ける心持をつたへ シュトラウスとならぶ問題雌の大 コ、 胴舞曲「美の控み」 すぎ つとり 関聯するところの一手なのだ。 ば無難略と云はざるを得ない。即 在り、明かに黒優勢と云ふ太弟。 と艷やかになります の白(ろ)と黒九十以下の攻撃を ち白八十一に應じた八十四は、黒 力の味方を強化して有利である。 か眼形を獲る特望であつて、八十 ので此院投じたもの、即ち、明日 かなど情しい要素を占めることと し又自七十七と七十九の中間を寛 のる場合は左方に領地が出来、更 イ、たのもしい翼 い。これを黒八十の時、白八十 少年少女 闘に乗つた開拓 攻撃への關聯 きが早く へるやらに ブーの良さが これからの御洗髪にこそ 花王シャン (場内 敬三作曲 一 ラツペの音、あの子もとの子もかりてつて、 僕は・一様にかけてつて 、 僕は・一様にかけてつて っ て笑ってた、 僕は・1私しくなっ しゃった 青拳扶 5 吉黒鴨 島天桑の林郡鉄 職地へ行つてさ 一大些內地面和日前連絡與日路與數本數學主要第三項子級再導送 案內所 京城三中北 安果大和播 で、弟の手紙との作詞 ハ、兵隊さん O内 群 連結優秀船 洗 大阪商船株式會社 東城 支店 はつきりわかります **车脚門司幣**早期 で大型船便多数あり 上戸廿九日 上戸廿九日 上戸廿二日 朝和九十二 日本市北 十二月十七日 天 海 北 十二月十七日 十二月十七日 ◎ 大数國漢地歷 響號 1 榮養菓子 **E** 日本海文 十二月十四日 朝 海 文 十二月十四日 朝 海 文 十二月十四日 日本海文 十二月十四日 日本海文 十二月十七日 日本田田帆 代理出日報記室田マー

城

『だから、それには及ばないと云 らない 歳の 歳職なんかに服す義 一番は常職に服さないのか。 やせら笑つて、概非は動かりと

代理店 國際運輸支店 近 代理店 國際運輸支店 近 月十一日 國際運輸支店 近 月十一日 國際運輸支店 近 代理店 國際運輸支店 近

報 金田田帆 代理店 郷田兄弟而含 1 日本海太 十二月十六日 1 日本海太 十二月十六日 1 明 源 九 十二月十六日 1 明 源 九 十二月十六日 1 日本海太 十二月十六日

夕

夕

割 社会式株コリグ (阪大・水東) 屋

イヘニナリ

オマケ ガデル

多フガ デキルクミタテルト

回一ちな髪本日 二らな方女少•袰洋

個

阪大・育商瀬長社會式株鹼石王花・京東

五

(T)

The second